

ヨーロッパの北の方に、デンマークという豊かな平和の国があります。この国は、百数十年前に国をあげた戦にやぶれ、領土の半分以上をなくしてしまいました。そしてあれはた土地と、つかれ切つた人だけが残り残りました。これを今日の立派なデンマークに築き上げたのは、皆さまの小学五年の「緑の国」の「もみの林」に出て来る、ダルガス父子とダルト・ウィークという人の教育の方であります。人々も、この教育と、ダルガス父子の仕事に奮い立つて、一生けん命に努力したからであります。

昔から、生きものは水から生れ、文化は水のはとりに発達する、といわれ、アメリカにおいても、テネシー河を科学の力で治めた話は有名で、T・V・Aと申しまして、あれはたこの河の上流に沢山のダムを造ることによつて、今まで暴れん坊であつた大水をなくしその力を発電にふり向け、舟で交通の便を良くし、工業を発達させ、土地に水や、良い肥を沢山施し、二十年もたない間に立派な土地にしてしまいました。こゝで特に目立つのは、このテネシーの流域に住んでいた人々が、自分達の住む土地は、自分達で良くするんだと、進んでこの仕事をなしとげたことあります。アメリカの民主主義は、こゝで実を結んだといわれます。

今度私達の住む、この土地を日本のT・V・A日本のデンマークにするために、愛知用水が造られようとしてゐます。

愛知用水というのは、木曾川の水を、岐阜県の兼山という所から、犬山市、東春日井郡愛知郡を通つて、知多郡の師崎まで流し、長さ百二十軒の間、人工の河を造ること、河に水が不足するときの用意に、御嶽山の麓に大きなダムを造るのであります。

この用水が出来る、田んぼの水不足がなくなり、禿山には緑の木が茂り、みずくした牧草が伸び、田や畑が新しく開かれ、畑にまで日干つきの時には水がかかり、特にスプリンクラーという機械で、人工の雨が出来る。これによつて、日本の国に不足する、お米や、乳がどつさりとれ、村や町の到る所に水道がひかれ、工業が起つて、本場に幸な土地になります。

さあ！皆さま、愛知用水を造ることに力を合わせましょう。近くこの用水を造るために世界銀行の人々が、直接皆さま方のお父さま、お母さまに、話を聞きに来ます。

この人達が、こられたら、村の人、町の人と一緒に、お父さまやお母さまも皆上水道と共に、愛知用水が一日も早く出来ることを心から望んで、話を御話ししましょう。

六月二十日

愛知用水期成同盟会

